

会長挨拶

# 開会挨拶



谷口 博昭 氏

公益社団法人日本道路協会会長

「第32回日本道路会議」の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙中にも拘らず、日本道路会議にご出席戴き、誠にありがとうございます。また、基調講演、パネルディスカッション、論文発表をお引き受け戴いた方々、並びに会議の諸準備にご尽力戴いた方々、道路関係団体の皆様方、誠にありがとうございました。会議主催者として、衷心より厚く御礼を申し上げます。

日本道路会議は、1952年の第1回開催以来、毎回、時代の要請に応じて、全国の道路関係者等が直面する広範囲な課題を取り上げ、さまざまな貴重な体験や研究成果を発表し、情報交換や意見交換する、わが国最大の道路会議であり、貴重な場です。

今回の日本道路会議では、“今後の道路政策のあり方についての展望”として、「ビッグデータの活用」、「直面する課題に関する先進事例と最新情報の共有と意見交換」として、「地域活動団体」、「巨大地震」、「無電柱化」、「自動運転」、「自転車活用」の5テーマ、“先進的な取り組み・研究成果の発表や海外事情などの最新情報の提供”として、「アセットマネジメント」、「途上国における道路プロジェクト」の2テーマについて、発表と情報や意見交換をして戴くと共に、一般論文発表として3部門、計444の口頭発表と情報や意見交換、57のポスター発表をして戴く予定です。

また、優秀論文賞及び奨励賞の表彰式を、一般論文発表当日、即ち本日と明日の夕刻に表彰予定でありますので、会議の盛り上げにご協力戴きますようよろしくお願い致します。

さて、2017年は、日本道路協会創立70周年に当たります。1947年に社団法人として発足以来、2013年に公益社団法人へ移行しましたが、関係機関と連携しつつ、調査研究、国際協力、広報活動等の諸活動を実施してまいりました。国土交通省道路局、諸先輩のご協力を戴き、『50周年から20年のあゆみ』として、記念誌を作成することができました。改めて感謝、御礼を申し上げますとともに、ご活用戴ければ幸いです。

今後とも会員相互の連携強化、地域力・現場力の発揮、情報発信の強化に努めてまいります。日本道路会議についても、会員をはじめ、皆様方の絶大なるご支援を戴き、一層の充実、発展に努める所存です。

今回の会議開催に寄せられたご指導、ご支援、ご協力に、重ねて深く感謝、御礼を申し上げますとともに、実りある日本道路会議となりますようお願いを申し上げ、ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

実行委員長挨拶

# 会議開催経過報告

石川 雄一 氏

日本道路会議実行委員長



本日は、お忙しい中、全国各地から日本道路会議にご参加いただき、誠にありがとうございます。今回の会議開催に至るまでの経過について、ご報告を申し上げます。

本会議は、昨今の道路に関するさまざまな話題を取り上げ議論するとともに、道路、交通、都市計画に係る論文等の発表を行うもので、日本道路協会の主催で、隔年開催しているところです。

平成28年5月、協会の理事会で実行委員会の設置が決定され、準備を進めてまいりました。平成29年4月、「計画・環境・安全・情報マネジメント部門」、「道路管理・修繕・更新部門」、「建設・施工技術部門」の3部門において、一般論文、ポスターセッションを募集したところ、前回の476を上回る、合計501点の応募をいただきました。今回、優秀論文賞及び奨励賞の表彰を、本日と明日の夕刻に実施しますので、ぜひご参加ください。

さて、国土交通省では、平成28年3月、石井大臣のもとで生産性革命本部が設置され、道路局においても、ピンポイント渋滞対策や首都圏・近畿圏の新たな道路料金体系の導入、ビッグデータを活用した交通安全対策、車のICT革命など、道路を通じて生産性を高める取り組みを積極的に進めているところです。また、平成29年8月には、社会資本整備審議会道路分科会において、建議を取りまとめいただき、道路の「利用」の観点も重視した取り組みを実現すべく、新たな道路政策の方向性の提案をいただいたところです。

このあと本会議場で行われる基調講演では、「ビッグデータを活用した道路施策のあり方」と題し、道路分科会基本政策部会の委員で、今回の建議の策定の取りまとめにも携わられた東京大学大学院教授の羽藤先生にお話し

いただくとともに、続くパネルディスカッションでも、先生に司会をお願いしているところです。

また、前回会議でのアンケート結果等も踏まえ、「巨大地震への備え」や「自転車活用」、「無電柱化の推進」、「地域活動団体の取り組み」、「中山間地等における自動運転サービスの実証実験」といった、社会的にも関心の高い5つの課題について、個別に講演、討論を行うこととしています。

国際関係のセッションには、2つのパネルディスカッションを予定しています。欧米諸国から担当の方々をお招きし、日米欧のアセットマネジメントの取り組みと今後の方向性についての国際シンポジウムを開催するほか、ネパールの山岳地帯において自動車道路が整備された事例を通じ、道路建設の原点を知っていただくことで、若手技術者のモチベーションを高めるといった企画も予定しています。

ご案内のとおり、近年、道路を取り巻く環境は大きく変化しており、人口減少、高齢化、自然災害の激甚化、インフラの老朽化という難しい課題に直面する一方で、急速に進展する技術革新、人と車の関係の再考、道路空間を通じた新たな連携協働の追求等、社会の要請に応えることが求められています。このように、時代とともに変化する道路を取り巻く諸課題について、皆様方の熱心なご討議、ご議論を期待しています。

最後になりますが、本会議の開催に当たり、関係各位の絶大なるご支援を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼を申し上げますとともに、本会議がこの2日間、成功裡に終わることを祈念して、私の経過報告とさせていただきます。ありがとうございました。